



種目別ヒアリング結果と

令和5年度の取組について





留萌市教育委員会におけるこれまでの取組について

令和4年12月に留萌市部活動の在り方検討委員会より提言書が提出された後、留萌市教育委員会では、各競技種目における現況や地域移行に係る検討課題を見出すため、種目ごとに打合せ会議を開催しました。

- ➡ 開催期間 ●●● 令和5年2月3日～28日 計8回
- ➡ 対象種目 ●●● 野球、サッカー、バレー、バスケ、卓球、陸上、ソフトテニス、吹奏楽 8種目
※ 一部部活動及び既に移行が完了している種目は除く
- ➡ 参加者 ●●● 各校保護者代表、各校部活顧問、少年団関係者、スポーツ・文化関係団体、スポーツ協会、教育委員会



- ✓ 検討委員会及び教育委員会におけるこれまでの経過について説明
- ✓ 部活動の現況と地域移行に係る意見交換



種目別会議を経て見えてきた課題について



✓ 指導者不足と平日移行の難しさ

- ・ 地方特有の指導者不足が深刻であり、平日の指導の受入れが難しい
- ・ 複数の団体が休日の指導（支援）は「可能」と回答したことから、可能な部活動から段階的に移行
- ・ 教職員及び市職員の兼職兼業の整備、指導者の公募が必要

✓ 練習場所と移動手段の確保

- ・ 合同部活動となった場合、練習場所までの移動が発生し、それに伴う移動手段の確保が必要（遠征等も同様）
- ・ 地域貢献等による企業からのバス借用や購入について協議が必要
- ・ 立地条件が優良な練習場所の選定についても課題



ヒアリングの結果について



吹奏楽

2月3日（金）実施

- ・ 現体制の継続がベター
- ・ 楽器更新、運搬の手段検討が必要
- ・ 吹奏楽指導対応顧問はほぼ各校にあり、異動あっても「指導者は教員」が現実的



卓球

2月6日（月）実施

- ・ 留萌卓球協会による休日の外部コーチ対応が可能
- ・ VICTASの支援について今後検討
- ・ 大会引率の仕組みについて検討が必要



バレーボール

2月8日（水）実施

- ・ 拠点部活を検討（長尾先生に相談）
- ・ 留萌市バレーボール協会のサポートを検討
- ・ 送迎方法について検討
- ・ 少年団との連携模索

✓ ヒアリングの結果について

✓ 陸上競技 2月13日（月）実施

- ・ 休日の浜中公園での指導を留萌陸上競技協会に依頼
- ・ 平日は検討課題だが当面は学校顧問が対応

✓ サッカー 2月14日（火）実施

- ・ 休日におけるサッカー協会の指導（支援）について協議を進める
- ・ 平日は教員指導となるがサポート体制を検討
- ・ 市職員の兼職兼業の方法について検討

✓ 野 球 2月15日（水）実施

- ・ 合同部活を念頭に運営
- ・ 当面は留中顧問を核に指導するのが望ましい
- ・ 小平町（ヒーローズ）の指導者にアプローチ





ヒアリングの結果について

バスケットボール 2月17日（金）実施

- ・ 人数の確保ができるうちは、現状維持がベター
- ・ 生徒減少を見越した対応が今後必要
- ・ ミニバス指導者またはバスケットボール協会指導者の関与を検討
- ・ 当面は土日対応に向けて検討

ソフトテニス 2月28日（火）実施

- ・ 民間指導が困難であり、顧問の兼業がベター
- ・ コート整備、バス送迎などの負担軽減策を検討
- ・ 港南中学校との合同部活も検討



各打合せ参加者の発言及び意向については、別紙資料参照



令和5年度における取組について



✓ 休日における地域移行

- ・ 種目別打合せ会議の結果、平日も含む地域移行については、大変困難であることから、休日の地域移行から着手していく。
- ・ 検討委員会からの提言の具現化とはならないが、国の方向性と合致させ、段階的な移行を推進していく。
- ・ 平日の部活指導については現状維持となるが、回数や時間について協議していく。
- ・ 平日の地域移行については、国の方針である令和5年度から7年度までの改革推進期間（3年間）に検討を重ねていく。

✓ 指導者の確保

- ・ 休日の指導者は、競技団体などから選考するとともに、教職員及び市職員等の兼職兼業の仕組みづくりについて検討。
- ・ 民間企業の地域貢献や北海道の人材バンク、公募により指導者の充実を推進していく。



令和5年度における取組について



地域移行の受け皿の選定

- ・ 留萌市における部活動の地域移行についてスムーズに進展させるための受け皿となる運営主体を選定していく。



留萌市地域移行推進計画の策定

- ・ 令和5年度から7年度までに平日における地域移行を推進するため、留萌市における推進計画を策定する。



顧問教職員の負担軽減策の検討

- ・ 平日における部活指導について、現状維持となってしまうことから、教職員への負担軽減に係る支援策について検討していく。

生徒や保護者の理解を得ながら段階的に推進していく